

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人エコネットくまがや

事業名	環境共生のまちづくり事業
枠の種類	ネーミング事業
分野	金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業
①事業の目的・この事業で取り組んだ課題	<p>熊谷市は荒川と利根川に挟まれた自然豊かな産業文化都市として発展して来た。当会では、環境と共生するまちづくりを行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、暑い熊谷の夏を涼しく過ごす生活の方法として、打ち水を地域から発信していく。</p> <p>また、苗木を配布しながら、都市緑化づくりに貢献する。</p> <p>さらに伝統文化としてのしめ縄づくりに着目し、田植えから、材料調達までを一貫して行い、しめ縄づくりを普及拡大していく。</p>
②課題を解決するため、取り組んだ個々の事業	<p>(1) あついぞ！熊谷打ち水大作戦2020</p> <p>① 打ち水サポーター養成講座の開催（7月） 打ち水をたくさんの人に知っていただくために、サポーター養成講座を実施する。</p> <p>② 一斉打ち水と打ち水音頭の実施（8月） エコネットくまがや本部（熊谷市村岡）に特設ステージを開設する。それをSNSで配信する。</p> <p>③ 打ち水ギャラリー（8月） 熊谷市内の八木橋デパートにおいてサテライト会場を設置し、関係団体や行政関係者の展示ブースを設ける。また、開催本部とリモートにて一斉打ち水を行う。</p> <p>(2) 私を植えて事業 市主催の環境フェアや市民団体の市民まつり等の開催が見送られたが、私たちは苗木の提供を継続することにより、都市緑化の推進を継続する。</p> <p>(3) しめ縄づくり事業 大地の産物である、稲わらとそれを飾るウラジロや松葉などの自然に感謝して、環境を大切にするという意識を醸成する。</p>

③個々の事業の内容・実施結果

(1) あついぞ！熊谷打ち水大作戦2020

① 打ち水サポーター養成講座の開催（7月5日（日））

打ち水をたくさんの人に知っていただくためにサポーター養成講座をエコネットくまがやの本部（熊谷市村岡）で開催した。認定されたサポーターは、60名で目標とする100名には届かなかった。参加者には地元地域で打ち水をアピールしてもらうために木札を配布した。

② 一斉打ち水（本年8月8日（土））

午前11時の開会時と14時頃に、参加者で一斉に打ち水を行った。エコネットくまがや本部に特設ステージを開設し、それをFMクマガヤの協力をいただき、SNSで配信した。打ち水を行う場所は、NPO本部のほか、サテライト会場（八木橋デパート周辺）、市内各地で行ってもらった。報告は1件であった。

③ 打ち水ソーレ（本年8月8日（土））

市民参加で楽しめるように新作パフォーマンス「打ち水ソーレ！」を作成し、振り付けを行って、SNSで配信した。

これリモートにて一斉打ち水の前のセレモニーの一環として実演した。会場はエコネットくまがや本部にて行った。

④ 打ち水ギャラリー

市内のデパート（八木橋デパート：市内仲町）周辺にサテライト会場を設置して、関係団体や行政関係者の展示ブースを設けた。なお、クラスターの発生防止に配慮した。

(2) 私を植えて事業

これまで、毎年熊谷市主催の環境フェアや市民団体の市民まつり等の開催時に苗木の提供を行っていたが、両イベントの開催が困難な中で希望者に抽選により苗木をプレゼントすることで、都市緑化を進める。NPO内にプロジェクトチームを設置して推進した。

① 苗木配布本数 200本（種類：ムクゲ、ハクチョウゲ、イチョウ他）さいたま市内の原田園芸から安価で購入した。

② 市民に対して9月熊谷市報等で希望者を募集した。

③ 配布方法 決められた日に会場まで取りに来ていただく方法としたが、事務局による配達も併せて実施した。

(3) しめ縄づくり事業

当初参加者50名を予定したが、予定していた会場が狭く、コロナ感染を防ぐため会員限定とした。参加者は16名。

	<p>○ 事業のスケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>・打ち水実行委員会（開催できず） ・打ち水サポーター養成講座開催 7月5日（土）</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>・打ち水実施 8月8日（土） ・稲刈り 9月10日（木）</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・稲の乾燥と選り分け作業 10日～24日 ・苗木の希望者募集 9月1日</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・苗木の配布</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>・しめ縄づくりの準備</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>・しめ縄作り本番 12月26日</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・報告書作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 広報計画について</p> <p>市報くまがやに掲載・チラシを作成、公民館等市役所関連施設に配布するほか当会法人会員や協力団体・企業にポスティングを行った。</p>	時期		7月	・打ち水実行委員会（開催できず） ・打ち水サポーター養成講座開催 7月5日（土）	8月	・打ち水実施 8月8日（土） ・稲刈り 9月10日（木）	9月	・稲の乾燥と選り分け作業 10日～24日 ・苗木の希望者募集 9月1日	10月	・苗木の配布	11月	・しめ縄づくりの準備	12月	・しめ縄作り本番 12月26日	1月		2月	・報告書作成
時期																			
7月	・打ち水実行委員会（開催できず） ・打ち水サポーター養成講座開催 7月5日（土）																		
8月	・打ち水実施 8月8日（土） ・稲刈り 9月10日（木）																		
9月	・稲の乾燥と選り分け作業 10日～24日 ・苗木の希望者募集 9月1日																		
10月	・苗木の配布																		
11月	・しめ縄づくりの準備																		
12月	・しめ縄作り本番 12月26日																		
1月																			
2月	・報告書作成																		
<p>④個々の事業の実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>(1) 打ち水大作戦2020（8月8日（土））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人エコネットくまがや本部、市内デパートのサテライト会場、講座を受けたサポーターの地元等において、打ち水に関心を持つ市民・県民が広く結集し、一斉に打ち水を実施することによって、一人一人が行動の積み重ねの重要性を認識することができる。それにより地球温暖化防止に寄与できるものと考えた。</li> <li>・市民には、自宅での打ち水の画像のYouTubeへの投稿を呼びかけて、併せて、サテライト会場（打ち水ギャラリー会場）と結んでライブ映像をSNSにて流すことにより、打ち水への関心を一層広げる効果を得られた。</li> </ul> <p>メイン会場200名、サテライト会場300名の合計500名の参加者があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、同日のNHKの関東甲信越ニュースでも大きく取り上げられ、多くの方にこの取り組みをアピールすることができた。</li> </ul> <p>(2) 私を植えて事業</p> <p>この事業を実施することにより、市民を中心に多くの県民が植樹の必要性、都市緑化の取り組みの重要性に気づくこと</p>																		

	<p>ができる。それにより植樹の普及に協力していただける方が増加し、みどりの再生に寄与できるものと期待する。温暖化対策そのものであり、今後とも継続していく。</p> <p>(3) しめ縄づくり</p> <p>しめ縄づくりの作業を通じて、自然の恵みに感謝するとともに、それを活用する知恵と習慣を身につけることで、自然保護の意識を高めることができた。</p>
⑤費用の工夫	<p>打ち水大作戦応援歌「打ち水ソーレ!」の作詞・作曲・振付など、会員及び知人の協力により経費を圧縮できた。</p>
⑥地域社会への還元について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2008年から取り組んでいる打ち水大作戦は、商店街など地域の方々を巻き込み、イベントを盛り上げて環境への意識を多くの市民に広げている。また熊谷のイメージを良い方向へ結びつける試みの一つとなっている。今年度はコロナ禍により限定的な開催であったが今後も地域貢献の一つとして継続していく。</li> <li>・ しめ縄づくりについても、多くの参加者を得て実施でき、自然への感謝、環境を大切にする意識の醸成に寄与している。</li> </ul>
⑦今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うちわまつり、花火大会など、市内の夏のビッグイベントが軒並み中止となる中、打ち水大作戦をリモートであったが実施できたこと自体が評価できる。</li> <li>・ 私を植えて事業は、都市緑化に寄与し、温暖化対策の切り札として、良い事業と考えている。</li> </ul>
⑧事業の実施体制	<p>○事業の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総括責任者：後藤素彦（代表理事）</li> <li>②連絡責任者：依田英世（副代表理事）</li> <li>③現場責任者：森松寿夫（事務局長）</li> <li>④経理担当者：依田悦代（理事）</li> <li>⑤広報担当者：寺島悦子（理事）</li> </ul>
⑨来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 打ち水大作戦は、来年度は当会のメイン事業として、よりリモート技術を向上させて実施していく。</li> <li>・ 私を植えて事業は、来年度から受託する熊谷市地球温暖化防止活動推進センター事業として推進していく。</li> <li>・ しめ縄飾りは、田植えから稲刈りまで参加者を広く募集して、自然の恵みを考えるものとして継続し発展を図っていく。</li> </ul>